



平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月11日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東
 コード番号 3266 URL <http://www.fc-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 吉田 隆 TEL 03 (5212) 5212
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の連結業績（平成25年12月1日～平成26年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	1,764	292.4	249	310.6	246	391.9	241	382.6
25年11月期第2四半期	449	△6.5	60	—	50	—	50	—

(注) 包括利益 26年11月期第2四半期 229百万円 (218.2%) 25年11月期第2四半期 72百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	6.55	6.55
25年11月期第2四半期	1.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第2四半期	1,903	1,508	79.1	40.84
25年11月期	2,741	1,261	46.0	34.30

(参考) 自己資本 26年11月期第2四半期 1,505百万円 25年11月期 1,261百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想（平成25年12月1日～平成26年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,728	266.2	179	347.5	176	633.3	167	659.1	4.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年11月期2Q	37,067,371株	25年11月期	37,067,371株
② 期末自己株式数	26年11月期2Q	127,500株	25年11月期	277,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年11月期2Q	36,872,289株	25年11月期2Q	36,789,871株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年12月1日～平成26年5月31日）における国内経済は、政府による経済政策及び日本銀行による金融緩和政策や各種経済政策を受けて、企業業績の向上や個人消費の改善が見られ、デフレ脱却へ向け着実に前進し、緩やかながら景気回復を続けています。

当社グループの主要事業である不動産業界では、金融緩和による良好な資金調達環境を背景に不動産の取引は活性化し、また、多くのJ-REITが公募増資を実施する等不動産市場の回復はより鮮明になりつつあります。国内株式市場においては、日経平均が平成25年12月30日に高値を付けた後、調整が続いておりましたが、当第2四半期決算期末に向けて回復基調で推移しました。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業におきましては、当第2四半期連結累計期間も引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて営業力の強化を図り、積極的に営業活動を行って参りました。また、新たな不動産ファンドや投資家ニーズにあった証券ファンドの開発に努めて参りました。太陽光発電ファンド事業におきましては、第1号ファンドである「福岡川崎ソーラーファンド」を組成することができました。インベストメントバンク事業におきましては、販売用不動産物件の売却により、売却収益を計上することができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高1,764百万円（前年同四半期比292.4%増）、営業利益249百万円（前年同四半期比310.6%増）、経常利益246百万円（前年同四半期比391.9%増）、四半期純利益241百万円（前年同四半期比382.6%増）となりました。

<アセットマネジメント事業>

当第2四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は152億円（一部円換算US\$1.00=101.66円）、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は201億円となりました。

不動産ファンドにつきましては、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等108百万円を計上いたしました。証券ファンドにつきましては、外国投資信託の管理報酬等58百万円を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業では開発アレンジメントフィー等198百万円を計上いたしました。この結果、アセットマネジメント事業は、売上高365百万円（前年同四半期比208.4%増）、営業利益111百万円（前年同四半期の営業損失は16百万円）となりました。

<インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、保有不動産の売却による収入1,363百万円及び不動産賃貸収入27百万円を計上いたしました。証券投資等部門では、金融商品仲介業務による手数料収入等6百万円を計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業においては、売上高1,398百万円（前年同四半期比322.5%増）、営業利益230百万円（前年同四半期比60.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(資産の状況)

流動資産は前連結会計年度末比821百万円減少の1,687百万円となりました。これは主に、販売用不動産の減少等によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末比16百万円減少の216百万円となりました。これは主に、保有する投資有価証券等の株価下落による減少であります。

以上の結果、資産の部は1,903百万円となり、前連結会計年度末比837百万円の減少となりました。

(負債の状況)

流動負債は前連結会計年度末比1,053百万円減少の380百万円となりました。これは主に、借入金の減少によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末比30百万円減少の15百万円となりました。これは主に、その他固定負債の減少によるものであります。

以上の結果、負債の部は395百万円となり、前連結会計年度末比1,084百万円の減少となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末において、有利子負債は前連結会計年度末比1,136百万円減少の190百万円となりました。

(純資産の状況)

純資産の部は1,508百万円となり、前連結会計年度末比246百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益241百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績及び平成26年6月30日付で発表した販売用不動産の取得・譲渡に係る損益等を反映した結果、同日付で平成26年3月20日付発表の通期の連結業績予想を以下のとおり修正しました。なお、今後の業績等につきましてはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

売上高2,728百万円 営業利益179百万円 経常利益176百万円 当期純利益167百万円

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	873	842
売掛金	27	17
未収入金	8	8
有価証券	139	172
営業投資有価証券	303	304
販売用不動産	1,016	189
立替金	113	98
短期貸付金	—	30
その他	27	23
貸倒引当金	△1	—
流動資産合計	2,508	1,687
固定資産		
有形固定資産	21	22
無形固定資産	0	2
投資その他の資産		
投資有価証券	108	88
その他	102	102
投資その他の資産合計	210	190
固定資産合計	232	216
資産合計	2,741	1,903
負債の部		
流動負債		
短期借入金	100	190
1年内返済予定の長期借入金	1,226	—
未払金	35	90
未払法人税等	6	2
預り金	33	19
前受収益	16	0
賞与引当金	—	30
その他	15	47
流動負債合計	1,433	380
固定負債		
その他	46	15
固定負債合計	46	15
負債合計	1,479	395

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,131	1,131
資本剰余金	609	617
利益剰余金	△506	△264
自己株式	△15	△7
株主資本合計	1,219	1,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	28
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	42	29
新株予約権	—	2
少数株主持分	0	0
純資産合計	1,261	1,508
負債純資産合計	2,741	1,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
売上高	449	1,764
売上原価	159	1,260
売上総利益	290	503
販売費及び一般管理費	229	254
営業利益	60	249
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	2
為替差益	1	—
その他	0	0
営業外収益合計	2	3
営業外費用		
支払利息	13	5
為替差損	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	13	6
経常利益	50	246
税金等調整前四半期純利益	50	246
法人税、住民税及び事業税	3	3
法人税等調整額	△3	△0
法人税等合計	0	3
少数株主損益調整前四半期純利益	49	243
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△0	1
四半期純利益	50	241

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	49	243
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	△13
為替換算調整勘定	2	△0
その他の包括利益合計	22	△13
四半期包括利益	72	229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72	228
少数株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	50	246
減価償却費	11	8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6	20
受取利息及び受取配当金	△0	△2
支払利息	13	5
為替差損益 (△は益)	△1	0
固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△3	9
有価証券の増減額 (△は増加)	△98	△32
立替金の増減額 (△は増加)	—	15
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△4	△0
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4	820
前払費用の増減額 (△は増加)	3	0
未収入金の増減額 (△は増加)	12	1
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△9	29
未払金の増減額 (△は減少)	△5	64
預り金の増減額 (△は減少)	—	△14
その他	△63	△11
小計	△98	1,159
利息及び配当金の受取額	0	2
利息の支払額	△12	△5
法人税等の支払額	△8	△13
法人税等の還付額	—	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	△119	1,147
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△0	△2
無形固定資産の取得による支出	—	△2
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴う匿名組合契約終了による収入	3	—
短期貸付けによる支出	—	△30
敷金の差入による支出	△0	△0
敷金の回収による収入	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	2	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	90
1年内返済予定の長期借入金の返済による支出	△18	△1,226
新株予約権の発行による収入	—	2
自己株式の処分による収入	—	15
その他	△0	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18	△1,141
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△132	△30

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	941	773
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	21	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	831	742

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネ ジメント事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	118	223	107	449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	118	223	107	449
セグメント利益又は損失(△)	△16	56	87	127

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	127
セグメント間取引消去	19
全社費用(注)	△86
四半期連結損益計算書の営業利益	60

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)
	アセットマネ ジメント事業 (百万円)	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門 (百万円)	証券投資等部門 (百万円)	
売上高				
外部顧客への売上高	365	1,391	6	1,764
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	—	—	9
計	374	1,391	6	1,773
セグメント利益又は損失(△)	111	275	△45	342

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	342
セグメント間取引消去	13
全社費用（注）	△105
四半期連結損益計算書の営業利益	249

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。